



目次

1. はじめに	1
2. 既往文献の整理分析	3
3. 兵庫県南部地震を対象とした地震時崩壊危険度判定手法の提案	10
4. 地震時崩壊危険度判定手法の汎用性の検討	
5. まとめと今後の課題	55
資料	56
資料1 地形量に関する素因データの作成	
資料2 最大速度、最大加速度の算出方法	
資料3 凹凸の表現方法に関する検討:尾根と谷の区分	
資料4 凹凸の表現方法に関する検討(2):縦断方向と横断方向の凹凸	
資料5 地質の影響の検討	
資料6 崩壊形態の差異が判別分析結果に及ぼす影響	
資料7 崩壊規模のばらつきが判別分析結果に及ぼす影響	
資料8 判別関数の関数形の検討	